圏外なき教え

# 報恩講

# 落語






落語家

## 笑福亭 笑利 さん

京都府宇治市出身。上方落語協会。吉本興業所属。
2014 年笑福亭鶴笑に師事し、漫才師から落語家へ転向。古典落語、新作落語だけでなく、人形を使ったパペット落語、歴史の史実を基にした創作歴史落語などで、全国各地で活動中。2023 年から毎月開催した 20 カ月連続根多下ろし公演では、ほぼ全公演満席。2024 年 10 月、落語家として唯一の味園ユニバース独演会の開催。笑いの殿堂なんばグランド花月本公演出演中。

法話のライブ配信します!

YouTube

本廟ホームページのトップ「ライブ配信」から入っていただくか、こちらのQRコードを読み込んでご覧ください

## 2026 11/土28

## 14:00

## 佛光寺本廟

TEL 075-561-2100

お参りされる方は
本堂の席数に限りがあるため
事前にご連絡ください




布教使

## 葦名 彰 師

大阪府高槻市妙圓寺住職。
大阪別院輪番。真宗佛光寺派布教使。
大阪の真宗大谷派末寺の次男として誕生。平成４年、親戚寺院である真宗佛光寺派妙圓寺に入寺する。阪神淡路大震災にて本堂倒壊、庫裏半壊の被害をうけるも、前住職と共に本堂を再建し、平成 19 年、第 21 代住職を継承する。その後、庫裏を再建するが、大阪北部地震にて鐘楼と山門に大きな被害を受ける。度重なる震災による被害にあいながらも、お同行に寄り添いつつ、お念仏の教えを広めている。



# 報恩講（ほうおんこう）とは

11月28日は親鸞聖人のご命日であり、この日をご縁に勤まる法要が報恩講です。親鸞聖人は私たちにかけられた大きな願いの世界を明らかにしてくださいました。その願いが有難く思えた時、私たちにとっての恩となります。

「恩返し」という言葉がありますが、本来は返すことの出来ない事柄に対する言葉を恩といいます。義理は返すことができますが、恩は返すことができません。

私たちは先立っていかれた方々から多くの恩をいただきました。その恩の集合体が私たちの「いのち」なのです。しかし残念ながらその方々に恩をお返しすることはできません。だから恩には「報いる」という形でしか応えることが出来ないのです。

「報いる」とは大勢のご先祖様に教えて頂いた「いのちの不思議」を次世代へと繋いでいくことです。報恩講とは「恩に報いる講（あつまり）」と書きますが、私たちの先輩方はこの報恩講をご縁に、頂いたご恩を共に確かめ、かけがえのない「いのちの歴史」を私たちにまで相続してくださいました。

また、「報」には「しらせる」という意味があります。大きな願いの世界に生きる「いのち」を報（しら）され、先人の足跡をたどりながら同じ道を歩むことが、今を生きる私たちにとって大切なことなのです。このことから浄土真宗では報恩講を大切に勤めてまいりました。

